

記 載 例（継続申請の場合）

第1号様式（第6条関係）

第 号
平成〇〇年〇〇月〇〇日

公益財団法人岐阜県産業経済振興センター
理 事 長 様

（中小企業者又は中小企業以外の者）

申請者所在地 〒500 - 〇〇〇〇 岐阜市〇番地
団 体 名 岐阜産業（株）
代表者職氏名 代表取締役 商工 太郎 印
担当者職氏名 研究開発部長 商工 次郎
連絡先電話番号 058 - ××× - ××××

（農林漁業者）

申請者所在地 〒501 - 〇〇〇〇 関市〇番地
団 体 名 農事組合法人 美濃農業
代表者職氏名 代表取締役 農業 太郎 印
担当者職氏名 同上
連絡先電話番号 0575 - ××× - △△△△

平成24年度 財団法人岐阜県産業経済振興センター 岐阜県農商工連携ファンド事業費
助 成 金 交 付 申 請 書

下記の事業を実施するにあたり、農商工連携ファンド事業費助成金の交付を受けたいので、財団法人岐阜県産業経済振興センター岐阜県農商工連携ファンド事業費助成金交付要領第6条の規定により関係書類を添えて申請します。

記

- 1 具体的事業名
地元特産〇〇を活用した安全・安心なジャムの開発
- 2 助成対象の事業区分
新商品等開発・販売力強化事業
- 3 助成事業実施期間 平成24年8月1日 ～ 平成25年7月31日
- 4 助成事業に要する経費及び助成金交付申請額
助成事業に要する経費 金 4, 800千円
助成対象経費 金 4, 400千円
助成金交付申請額 金 2, 933千円
- 5 助成金の交付窓口となる団体名
岐阜産業（株）

第2号様式

申請者の概要（岐阜産業（株））

事業者等の名称	岐阜産業（株）					
ホームページアドレス	http://www.gpc-gifu.or.jp					
所在地	〒500-0000 岐阜市〇番地					
代表者名	代表取締役 商工 太郎					
設立（予定）年月日	昭和41年4月1日					
資本金又は出資金	10,000千円					
一社の大企業又はその役員からの50%以上の出資の有無	無					
従業員数（会員数）	役員	従業員（人）				左記のうち正社員
		事務系	営業系	技術系	合計	
	3	5	10	5	20	15
主たる業種	（主たる業種で、日本産業分類に準拠）					
主な事業内容（主な取扱製品又はサービス内容）	1 2 3					
決算状況（直近2期分）	区 分	直前期23年12月期		22年12月期		
	売上高	100,000千円		150,000千円		
	経常利益	△3,000千円		8,000千円		
	当期利益	△2,000千円		7,000千円		
経営上の強み（技術・経営ノウハウ等に関する自己アピール）	<ul style="list-style-type: none"> ・加工食品の開発技術・ノウハウ・情報 ・食品加工・製造に係る施設・機械器具備品 ・安定的かつ高品質の商品を加工、製造するための技術・ノウハウ・情報 ・加工食品の品質管理技術 ・加工食品の販路・顧客情報 					
経営環境及び現在の課題	××を加工したフルーツゼリーを主に生産してきたが、近年、安い海外輸入品との競合の激化により取引価格の下落が続いており、より付加価値の高い新商品の開発及び販売が課題となっている。					
連絡先	担当者役職・氏名 研究開発部長 商工 次郎 担当者所属部署名 研究開発部 電話番号 058-277-1083 F A X 番号 058-277-1085 E-mail アドレス aaa@gpc-gifu.or.jp					

※ 中小企業者（又は中小企業者以外の者）、農林漁業者ごとに作成願います。

※ 中小企業者（又は中小企業者以外の者）又は農林漁業者が連携体の場合は、当該組織及び事業実施の中核となる事業者等の概要をそれぞれ作成願います。また、第2号様式別表及び当該組織の運営規約を添付してください。

第2号様式

申請者の概要（美濃農業）

事業者等の名称	農事組合法人 美濃農業						
ホームページアドレス	http://www.						
所在地	〒501-〇〇〇〇 関市〇番地						
代表者名	代表取締役 農業 太郎						
設立（予定）年月日	昭和60年4月1日						
資本金又は出資金	3,000千円						
一社の大企業又はその役員からの50%以上の出資の有無	無						
従業員数（会員数）	役員	従業員（人）				左記のうち正社員	
		事務系	営業系	技術系	合計		
		2	3	1	4	8	5
主たる業種	（主たる業種で、日本産業分類に準拠）						
主な事業内容（主な取扱製品又はサービス内容）	1 2 3						
決算状況（直近2期分）	区分	直前期23年11月期		22年11月期			
	売上高	20,000千円		30,000千円			
	経常利益	△1,000千円		2,000千円			
	当期利益	△1,500千円		2,500千円			
経営上の強み（技術・経営ノウハウ等に関する自己アピール）	<ul style="list-style-type: none"> ・新商品に適した〇〇の生産に必要な生産技術・肥培管理技術・ノウハウ・情報 ・当社の〇〇は、農薬や化学肥料を一切使わず、また、成分AAは、栽培での工夫により、他生産者の〇〇に比べ、多く含まれている。 ・平成〇〇年〇月「ぎふクリーン農業登録者認定」 ・農地、低温倉庫・トラクター等の機械器具備品 						
経営環境及び現在の課題	当地域で地元特産フルーツである〇〇の露地・ハウス栽培及び販売を行う中で、高付加価値化及び経営の安定化を目指すため、〇〇の加工食品への活用を含め、新たな事業展開が課題となっている。						
連絡先	担当者役職・氏名 代表取締役 農業 太郎 担当者所属部署名 電話番号 0575-〇〇-〇〇〇〇 F A X 番号 0575-〇〇-〇〇〇〇 E-mail アドレス aaa@〇〇〇〇.or.jp						

※ 中小企業者（又は中小企業者以外の者）、農林漁業者ごとに作成願います。

※ 中小企業者（又は中小企業者以外の者）又は農林漁業者が連携体の場合は、当該組織及び事業実施の中核となる事業者等の概要をそれぞれ作成願います。また、第2号様式別表及び当該組織の運営規約を添付してください。

役員等に関する事項（中小企業者）

申請事業者等の名称 ○○○○○○

職名	ふりがな 氏名	性別	生年月日（和暦）
代表取締役	○ ○ ○ ○	男	昭和25年1月1日
専務取締役	○ ○ ○ ○	女	昭和28年4月12日

- ※本調書は中小企業者（又は中小企業以外の者）と農林漁業者の以下に該当する方について作成する。
- ①法人の場合は、非常勤及びその他これに類する地位にある方並びに経営に実質的に関与している方
 - ②法人格を有しない団体にあつては、代表者及び経営に実質的に関与している方
（連携体等にあつては、各々の事業者における代表者及び経営に実質的に関与している方）
 - ③個人にあつては、その方及びその方に対し支配関係にある方

この書面によって、公益財団法人岐阜県産業経済振興センターが交付する助成金から暴力団等を排除し、助成事業の適切な執行を確保するため、申請事業者等が暴力団等に関係する者でないかを関係機関へ照会する場合があります。

役員等に関する事項（農業者）

申請事業者等の名称 ○○○○○○

職名	ふりがな 氏名	性別	生年月日（和暦）
代表取締役	○ ○ ○ ○	男	昭和25年7月1日
専務取締役	○ ○ ○ ○	女	昭和28年6月15日

- ※本調書は中小企業者（又は中小企業以外の者）と農林漁業者の以下に該当する方について作成する。
- ①法人の場合は、非常勤及びその他これに類する地位にある方並びに経営に実質的に関与している方
 - ②法人格を有しない団体にあつては、代表者及び経営に実質的に関与している方
（連携体等にあつては、各々の事業者における代表者及び経営に実質的に関与している方）
 - ③個人にあつては、その方及びその方に対し支配関係にある方

この書面によって、公益財団法人岐阜県産業経済振興センターが交付する助成金から暴力団等を排除し、助成事業の適切な執行を確保するため、申請事業者等が暴力団等に関係する者でないかを関係機関へ照会する場合があります。

事業計画書（2年目）

1 具体的な事業名

地元特産〇〇を活用した安全・安心なジャムの開発

2 助成事業の区分

新商品等開発・販売力強化事業

3 事業実施の目的・必要性

昨年度に実施した求評会、〇〇の成分分析の結果を受け、××成分の向上のため、〇〇の栽培、ジャムの開発での改良を行う。また、パッケージデザイン開発を行う。

また、商品改良、パッケージデザインに目処がついた段階で、昨年度に引き続き、求評会を開催し、再度、商品の評価を確認するとともに、農業コンサルタントから〇〇の栽培の方法についてアドバイスをもらい、さらなる改良を図り、平成23年4月の商品化を目指す。

4 事業の具体的内容

◎中小企業者：岐阜産業（株）

1 研究開発

- ① 昨年度に実施した求評会での結果を基に、試作品の改良を引き続き行う。なお、大部分は既存の機械装置で対応可能だが、最終工程における瓶詰めのため、△△機械が必要となるため、レンタルで対応する。

＜実施期間＞平成24年9月～平成25年3月

- ② 昨年度に引き続き、料理研究家に依頼し、最終試作品に関するアドバイスを受ける。年4回実施予定。

＜実施期間＞平成24年11月～12月、平成25年2月～平成25年3月

- ③ 岐阜市内のデザイン会社に委託し、他社商品との差別化を図るため、〇〇の生産者、生産過程・種類及び成分を明示した商品パッケージ（外箱・ラベル）デザインの試作を行う。

＜実施期間＞平成25年1月～2月

2 求評会の開催

昨年度に引き続き専門家を招いての商品改良を目的とした求評会、今年度は〇〇〇料理教室での消費者向けの求評会を開催し、商品化のための情報収集を行う。求評会は農業者も参加し、原料の〇〇について説明を行う。

＜実施時期・実施場所＞平成25年3月 岐阜市
平成25年4月 名古屋市

◎農業者：美濃農業

1 研究開発

- ① ××成分を多く含ませるため、品種、栽培基準（有機栽培）、生産量、収穫方法を改善して、栽培を行う。なお、栽培後は〇〇大学の〇〇研究室に成分分析を委託。

＜実施期間＞平成24年11月～平成25年3月

- ② 農業コンサルタントから指導を受け、〇〇の収量増加、品質安定化などの安定供給体制構築に取り組む。2か月に1回実施予定。

<実施期間>平成24年8月～平成25年5月

5 事業の補足説明

(1) 事業の新規性、革新性

県産品〇〇を原材料とするジャムの製造は、全国初の取り組み。

美濃農業が生産する〇〇のAA成分の高さ、岐阜産業の優れた加工技術により、AA成分の高さを損なわず、従来のジャム製品にない食感や味を持つ食品の開発。

(2) 助成事業に関する商品・技術・サービスの特徴や優位点（競合する商品等との相違点等）

- ・本事業で開発するジャムは、上記(1)のほか、地域限定で有機栽培した〇〇のみを原料に、優れた食品加工技術・ノウハウを活用し、食品添加物や保存料無添加で製造することにより、競合する類似商品と比較して食の安全という観点からの訴求力を有している。

(例)

区分	成分AA	成分××	満足度	販売予定価格
当社製品				円/g (見込)
他社A製品				円/g
他社B製品				円/g
他社類似C製品				円/g

[出展] 成分AA、成分××は〇〇研究所依頼試験

満足度については昨年度実施した求評会での評価

(3) 顧客・販路開拓方法

① 想定顧客（ターゲット層）

最終消費者では、食の安全安心や健康志向に関心が高い子育て中の家庭、中高年の女性。

事業者向けではベーカリーレストランや〇〇〇〇を想定。

② 対象エリア

当面は従来の販路である名古屋を中心とするエリアに力をいれ、その後、首都圏等での売り込みを行う予定。

③ 販売価格

上記のとおり 販売予定価格 円/g

④ 販売・PR方法

従来の販路（岐阜、名古屋の大手小売店、食品専門店、道の駅、ベーカリーレストラン）による販売

口コミによる販路開拓

展示会への出展

自社ホームページでのインターネット販売

首都圏等の大手小売店、〇〇〇専門店等への売り込み

6 成果目標

◎中小企業者：岐阜産業（株）

求評会での満足度 5段階評価の最も高い評価 参加者の7割

商品化の時期 平成25年3月

本商品の売上高 平成25年12月期 売上高 4,000千円

総売上高 平成25年12月期 売上高 130,000千円

経常利益 2,000千円

◎農業者：美濃農業
成分×× ○○（昨年度に比べ△△%向上）
○○の売上高 平成25年11月期 売上高 1,500千円

7 地域活性化への貢献、波及効果

◎中小企業者：岐阜産業（株）
事業拡大により、新たな県の特産品が増加することで地域活性化や新規雇用の創出が期待される。

◎農業者：美濃農業
事業の拡大により、県産品○○のイメージ向上、ブランド化に資することで、地域への波及効果が見込まれる。

8 事業の実施体制

◎中小企業者：岐阜産業（株）
責任者 △△部△△△△部長
△△部長は○○○○○に関する研究に20年以上従事し、博士号も取得
従事する職員 △△部員 ○人

◎農業者：美濃農業
責任者 代表取締役 農業 太郎
従事する職員 社員 ○人

9 外部への委託

委託先 ○○○○○
委託内容
委託金額 ○○○千円
委託理由

10 他の補助金の交付実績（過去2年以内）及び当該年度の助成金の申請状況（予定を含む）

◎中小企業者 平成23年度 ○○○○○補助金（経済産業省）
具体的な事業名 ○○○○○○○○○○○○○○
補助金額 ○○○千円

◎農業者 なし

11 申請事業スケジュール (岐阜産業(株)、美濃農業)

区分	岐阜産業(株)			両事業者	美濃農業		
項目	研究開発			求評会の 開催	研究開発		
	試作品の 改良	料理評論 家の指導	パッケージ デザインの委託		独自の裁 培基準に よる〇〇 の栽培	農業コン サルタン トの指導	
24年8月						2か月に1回 指導	
24年9月	↓						
24年10月	↓						
24年11月	↓	↓			成分 分析 調査		
24年12月	↓	↓ 月1回			成分 分析 調査		
25年1月	↓						
25年2月	↓	↓					
25年3月		↓ 月1回	↓	↓	↓		
25年4月			↓	↓			
25年5月						↓	
25年6月							
25年7月							

※主な取り組みのスケジュールを記入すること

第2号様式—4（第6条関係）

収支予算書

収入の部（単位：円）

区 分	金 額	調 達 先	備 考
産経センター助成金	2,933,000 a		
自己資金	1,067,000	岐阜産業（株） 678,000 美濃農業 389,000	
借入金	800,000	〇〇銀行〇〇支店	
その他			
合 計	4,800,000 b		

支出の部（単位：円）

区 分	助成事業に 要する経費	助成対象 経 費	助 成 金 申 請 額	積 算 の 内 訳
◎岐阜産業（株） 研究開発費				
機械装置レンタル	00,000	00,000		△△機械レンタル費 @ 0,000円×〇か月
謝金	00,000	00,000		料理研究家への謝金 @ 0,000円×4回
原材料費	00,000	00,000		ガラス製密封保存容器（求評会用） @ 00円×〇〇個
委託費	00,000	00,000		パッケージデザイン委託費 （〇〇〇株）
.....			
求評会開催費				
旅費	00,000	00,000		名古屋市—岐阜市 往復交通費 @ ,000円×4人×2回
会場借上料	00,000	00,000		〇〇ホテル（名古屋市） @ 0,000円（半日）
印刷製本費	00,000	00,000		説明用チラシ作成費 @ ,000円×200部
求評会案内状印刷				@ ,000円×200部
〇〇〇〇経費				
.....	00,000	00,000	
◎美濃農業 研究開発費				
謝金	00,000	00,000		農業コンサルタントへの謝金 @ 0,000円×6回

原材料費	00,000	00,000		試作品原料生産用肥料代 @ 0,000円×〇〇kg
委託費	00,000	00,000		成分分析調査委託費 @ 0,000円×2回
.....	00,000	00,000	
.....	00,000	00,000	
求評会開催費				
旅費	00,000	00,000		名古屋市—岐阜市 往復交通費 @ ,000円×2人×2回
.....	00,000	00,000	
合 計	4,800,000 B	4,400,000	2, ,000 A	

注1 支出の部の区分は、第2号様式—3に記載した事業内容（項目）ごとに記入してください。

2 助成事業に要する経費は消費税及び地方消費税込みの金額、助成対象経費は消費税及び地方消費税抜きの金額を記入してください。

3 積算の内訳が多岐になる場合は、必要に応じて別紙を作成して詳細に記入してください。

4 収入aと支出A、収入bと支出Bは金額が一致すること。

5 中小企業者（又は中小企業者以外の者）、農林漁業者、それぞれに区別して作成願います。

次年度以降の事業計画

（単位：千円）

区 分	事業実施（予定）内容	売上高等の 具体的な 数値目標	上段：助成事業 に要する経費 下段：助成申請 予定額
助成事業 終了後 1年目 (次年度)	<岐阜産業（株）> ・商品生産ラインの本格稼働 ・	当該商品売上高 4,000千円 総売上高 130,000千円	1,700千円
平成25年度	<美濃農業> ・農業コンサルタントから指導を受け、〇〇の収量増 加、品質安定化などの安定供給体制構築に取り組む。	〇〇（農産物） 売上高 2,000千円	1,050千円
2年目	<岐阜産業（株）> ・インターネットショッピングモール〇〇〇へ出店 ・各種見本市・展示会への出品・出展	当該商品売上高 6,000千円 総売上高 132,000千円	
平成26年度	<美濃農業> ・引き続き、〇〇の安定供給体制構築に取り組む。 ・	〇〇売上高 3,000千円	
3年目	<岐阜産業（株）> ・各種見本市・展示会への出品・出展 ・	当該商品売上高 7,000千円 総売上高 133,000千円	
平成27年度	<美濃農業> ・引き続き、〇〇の安定供給体制構築に取り組む。	〇〇売上高 3,500千円	
4年目	<岐阜産業（株）> ・自社ホームページでのインターネット販売開始 ・	当該商品売上高 8,000千円 総売上高 134,000千円 新規雇用1名	
平成28年度	<美濃農業> ・〇〇の栽培面積の拡大（△△㎡→××㎡）	〇〇売上高 4,000千円 新規雇用2名	
5年目	<岐阜産業（株）> ・製品ラインアップの強化 ・	当該商品売上高 10,000千円 総売上高 140,000千円	

平成29年度	<美濃農業> ・〇〇の更なる収量増加、品質向上に取り組む。	〇〇売上高 5,000千円 新規雇用1名	
--------	----------------------------------	----------------------------	--

- 注1 今回の助成事業終了後（次年度以降）の5年間の事業内容を記入してください。
- 2 具体的数値目標には、売上高、新たな雇用者数、事業化の時期(新商品開発の場合)等を記入してください。
- 3 助成事業に要する経費、助成申請予定額は、助成対象事業期間が1年を超える場合（継続申請を予定している場合）、記入してください。
- 4 中小企業者（又は中小企業者以外の者）、農林漁業者ごとに作成願います。